

---

# ライバル

さとら

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
ライバル

【コード】  
N0429Q

【作者名】  
やとら

【あらすじ】  
父の友達の息子の友達と同じ小学校に入学した私は、その子に恋をした。

私は、あいつの『運動神経の良さ』が、好きになった。なぜなら、あいつは、幼稚園の頃跳び箱8段を跳び、そのうえ50mの記録が8秒だい。小1の頃の話。

その後5年間の片思い。1年生、2年生、3年生まで、ライバルもいない。ずっとライバルは現れないとおもっていた。

4年生では、クラス替えであいつとクラスが離れた。4年生では、クラスがちがったからあいつのことはわからなかった。だが、あいつとクラスの一緒の友達が、帰り道にあいつのことを教えてくれる。

5年生では、クラス替えであいつとクラスがまた一緒になった。ここで悲劇が興った。私と相性の悪い、女子があいつと仲良くなったいたからだ。そこから毎日、毎日悪が興った。中休みは一緒に行動。図書室の席でも隣。教室の席も隣。

私はおもいきって、告白する事にした。

私はいっ一人だけ呼んだ。あいつ一人だけ呼んだはずだった。だが、あの女の子が来た。2人で笑いながら、自転車に乗って…。結局、告白は失敗に終わった。

数日後

またもや悪が興った。

あの子とあいつが2人で、プリクラを撮ると言うのだ。私の近くで大声で、自慢のように…

その日から毎晩、毎晩、毎晩泣き続けた。

私はこれからどうなるのだろうか

(後書き)

この話は、私が経験した実話です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0429q/>

---

ライバル

2011年1月8日23時44分発行